

見本

この見本は道路境界図に必要な事項を示したものです。
レイアウトについては、任意のもので問題ありません。

道路境界図（実測図）		縮尺
土地所在地番	所沢市〇〇町〇丁目 100番10、100番11	1 250

縮尺は 1/250 を基本としますが、土地の状況
その他の事情により縮尺が適当でない場合は
それ以外の縮尺で構いません。

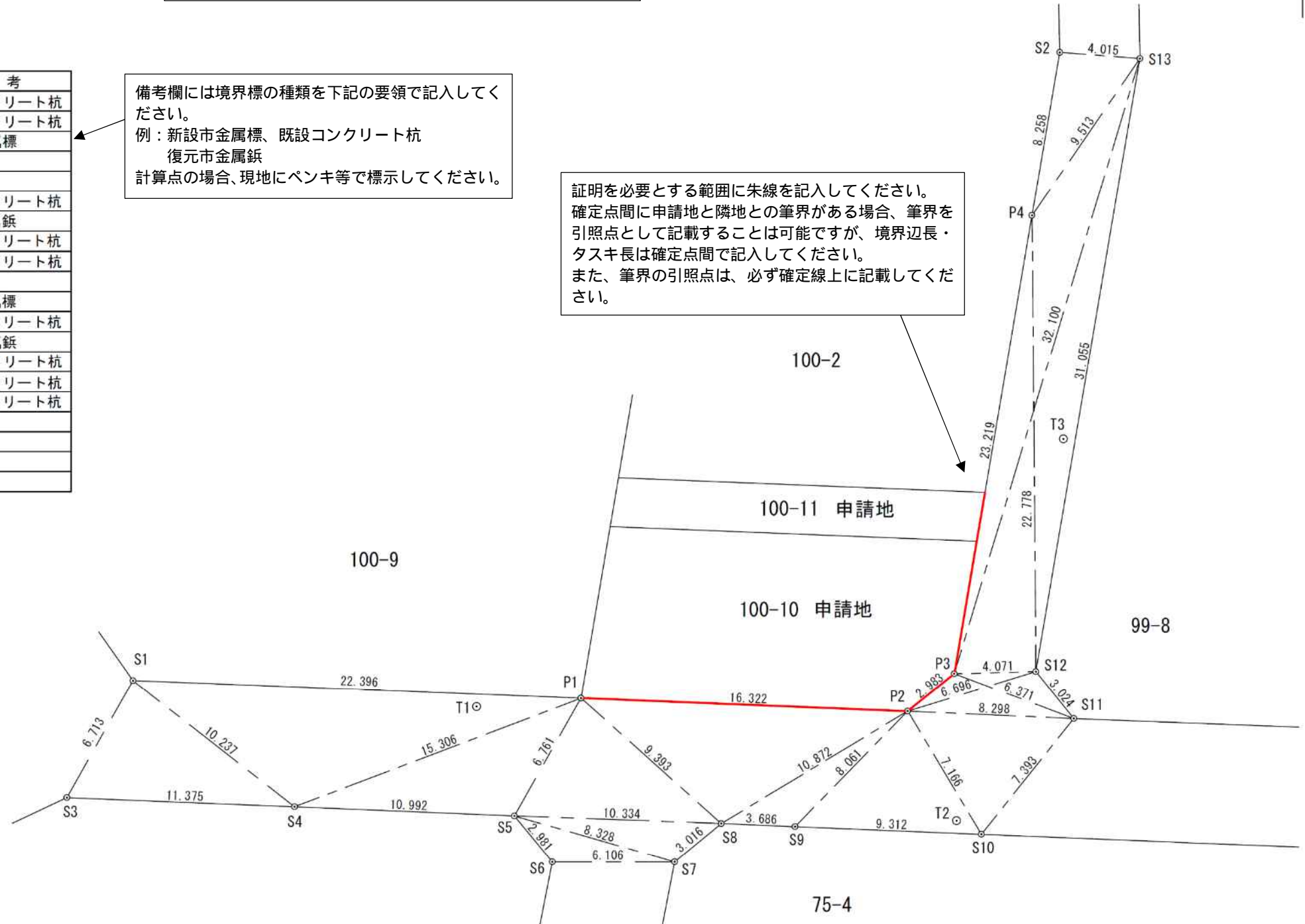
図面のタイトルを「道路境界図（実測図）」、
水路がある場合は、「道水路境界図（実測図）」としてください。



点名	X座標	Y座標	備考
P1	-22483.514	-34049.183	既設コンクリート杭
P2	-22484.165	-34032.873	既設コンクリート杭
P3	-22482.296	-34030.547	復元市金属標
P4	-22459.402	-34026.670	計算点
S1	-22482.639	-34071.562	計算点
S2	-22451.261	-34025.283	既設コンクリート杭
S3	-22488.486	-34074.861	既設市金属標
S4	-22488.942	-34063.495	既設コンクリート杭
S5	-22489.399	-34052.512	既設コンクリート杭
S6	-22491.698	-34050.614	計算点
S7	-22491.702	-34044.508	既設市金属標
S8	-22489.779	-34042.184	既設コンクリート杭
S9	-22489.937	-34038.501	既設民金属標
S10	-22490.316	-34029.196	既設コンクリート杭
S11	-22484.538	-34024.583	既設コンクリート杭
S12	-22482.180	-34026.477	既設コンクリート杭
S13	-22451.563	-34021.279	計算点
T1	-22483.937	-34054.396	金属標
T2	-22483.637	-34030.434	金属標
T3	-22470.543	-34025.099	金属標

備考欄には境界標の種類を下記の要領で記入してください。
例：新設市金属標、既設コンクリート杭
復元市金属標
計算点の場合、現地にペンキ等で標示してください。

証明を必要とする範囲に朱線を記入してください。
確定点間に申請地と隣地との筆界がある場合、筆界を
引照点として記載することは可能ですが、境界辺長・
タスキ長は確定点間で記入してください。
また、筆界の引照点は、必ず確定線上に記載してくだ
さい。



凡例	P	確定点
	S	引照点
	T	機械点
	〇〇.〇〇〇	境界辺長

境界辺長は小数点第三位まで記載して
ください。（小数点第四位以下切捨）

所沢市 建設部 建設総務課

作成者	埼玉県所沢市並木一丁目1番地の1			職印
	土地家屋調査士 所沢 一郎			
測量年月日	令和	年	月	日